

人と人ってほんとうに分かりあえるの？
生まれつき耳のきこえないわたしと、
アスペルガー症候群のまあちゃんの
心の越境ドキュメンタリー。



友達 やめた。

わたしたちって、
ややこしい。

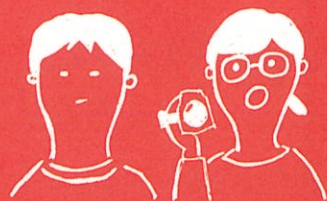
監督・撮影・編集：今村彩子 『Start Line』『架け橋 きこえなかった3.11』

構成：山田進一／音楽：やとみまたはち／音響効果：野田香純／整音：澤田弘基

CG編集：瀬下智也／イラスト：小笠原円／宣伝デザイン：中野香

配給協力・宣伝：リガード／配給：Studio AYA 2020／日本／84分／BD／ドキュメンタリー

studioaya-movie.com/tomoyame



わたし、
いい人でいるの
やめた。



自分とは異なるバックグラウンドを持つ人たち同士が
どうすればうまく共存できるのか、という本質的な問題について、
理想論だけではない感情の部分まで示している。
それは、簡単に答えが出るものではないかもしれないが、とても大切な問題だ。

——— 本田秀夫 (精神科医)

我が家も毎日が「ブチ」夫婦やめた」状態だ。
でも、お互いが必要とする気持ちと信頼が、
「言葉」を超越したコミュニケーションを育んできたと思う。
「コミュニケーションとはなにか？」と考えるとき、
本作から得られるヒントは多いはずだ。

くらげ (ボクの彼女は発達障害) (著者)



あなたの常識は、わたしの非常識。 わたしの普通に、あなたはドン引き。

空気を読みすぎて疲れてしまい、人と器用につき合うことができない、アスペルガー症候群の、まあちゃん。理解があるような顔で、内心悶々としたものをかかえる、映画監督のわたし。些細なことで、ふたりの仲がギクシャクするたび、これって、彼女がアスペだから？ それとも、わたし自身の問題なの？ わかり合おうとしなくちゃ…いい人でいなくちゃ…ああ、でも！ まあちゃんと友達にいるために、わたしは自分たちに向けてカメラを回しはじめた…はずが、たどりついた答えは、友達やめた？！

ふたりの悩みを
映画にしよう。

こんなんで
本当に映画に
なるのかな？



めんどくさくって尊い、 個×個、心×心のドキュメンタリー！

コミュニケーションの壁に苦しむ自身の姿を、エイヤ！と晒した『Start Line』から4年、生まれつき耳のきこえない映画監督 今村彩子が、新たな葛藤と向きあう。人と人ってほんとうに分かりあえるの？ 友達って何？ 普通ってどういうこと？ わたしたちを縛るやっかいな“常識”を捨て、もっと自由に軽やかに、心と心を重ねあう。ヒリヒリして、イラッときて…でも何だかほっこりする、まあちゃんとわたし、ふたりの“違い”から生まれたものがたり。



書籍発売中……………

「スタートラインに続く日々」

今村彩子監督初の単書、『友達やめた。』の原作ともいえる「アスペのまあちゃん」収録。前作『Start Line』の舞台裏とその後を描いた、“ちょっぴりカッコ悪い”映画監督のこれまでにこれからの綴ったエッセイ集。(桜山社刊/1500円+税)

友達やめた。

studioaya-movie.com/tomoyame

f @tomodachiyameta

t @tomodachiyameta